

跡見女子大と連携強化

南富良野 学生ら9人 観光体験

【南富良野】跡見学園女子大（東京）観光コミュニケーション学部（以下、通称「跡見大」）の学生ら9人が25日から3日間、町内を訪れた。26日には地元産ドライフラワーを使い、女子大生に身近なアクセサリー作りを体験。町は今後、同大と連携し、地場産品を使ったクラフト体験や特産品の開発につなげたい考えた。

同大は4年前から南富良野を訪れ交流していたが、今年から本格的に町と連携し、学生が特産品の開発などに取り組む。今回は同学部の篠崎健司准教授とゼミに所属する3年生5人、2年生3人が訪れた。

26日は町内東鹿越の「かなやま湖ログホテルラッチ」で、地元産のドライフ

ラワーを使ったペンダント



アクセサリー作りを体験する跡見学園女子大の学生

やピアスを手作りした。国設南富らのスキー場では、空気で膨らませたそりで丘の上から滑り降りる「エアボード」を体験し、写真を撮って会員制交流サイト

（SNS）で発信した。3年生の長浜美帆さん（21）は「南富良野で体験したことを踏まえ、若い女性や修学旅行生向けの観光プランや土産品などを考えて

いきたい」と話した。担当する町企画課は「官学連携で観光資源の価値を高め、町の活性化につなげていければ」と期待を込める。

（伊勢裕太）